

指定管理者制度導入施設 管理運営状況(令和6年度)

基本情報						
施設名称 (愛称)	滋賀県醒井養鱒場					
HPアドレス	http://samegai.siga.jp/		(建物外観等)			
電話番号	0749-54-0301		 本館(さかな学習館)  場内飼育池			
所在地	米原市上丹生					
設置目的	養鱒についての調査および技術の普及指導を行うほか、養鱒技術の向上と水産業の振興に寄与するため、一般の観覧に供する。(滋賀県醒井養鱒場の設置および管理に関する条例:昭和39年3月31日滋賀県条例第50号)					
所管	部局	農政水産部				
	課等	水産課				
設置年月	昭和39年3月(明治12年現在地に開設)					
土地	敷地面積	190,127.6 m ²		避難所指定等	—	
	市街化区域	市街化調整区域		防災拠点指定等	—	
	用途地域	—		文化財指定	国指定名勝醒井峡谷	
建物	延床面積	2,807.78 m ²		再生エネルギー等	—	
	取得価額	465,743,812円		自家発電設備	有	
運営	運営方法	指定管理				
	運営時間	8:30~17:00				
	休館日	12/28~1/4				
駐車台数	200台(指定管理者借用地)					
特記事項 指定管理者:滋賀県漁業協同組合連合会						
施設概要						
名称	主体構造	設置年	延床面積	階数	耐震	備考
本館(さかな学習館)、研修棟	鉄筋コンクリート造	S62	831.05m ²	2	新耐震	
餌付池上屋(A棟)	鉄骨造	S58	160.53m ²	1	新耐震	
餌付池上屋(B棟)	鉄骨造	S58	209.13m ²	1	新耐震	
餌付池上屋(C棟)	鉄骨造	S61	372.46m ²	1	新耐震	
採卵場	鉄骨造	H4	65.8m ²	1	新耐震	
採卵場	木造	S34	18.14m ²	1	旧耐震	
ふ化場	鉄骨造	H13	225.4m ²	2	新耐震	
親魚養成棟	鉄骨造	H14	220.91m ²	1	新耐震	
作業棟	鉄骨造	S63	156m ²	1	新耐震	
倉庫	鉄骨造	S57	38.46m ²	1	新耐震	
車庫棟	鉄骨造	S63	106.8m ²	1	新耐震	
ポンプ室	木造	H10	3.28m ²	1	新耐震	
フォークリフト車庫	鉄骨造	S62	9m ²	1	新耐震	
排水処理室	木造	H10	23.16m ²	1	新耐震	
正面入場券売場	木造	H7	15.5m ²	1	新耐震	
入場券売場(南)	木造	S57	6.9m ²	1	新耐震	
無料休憩所(せせらぎ)	木造	H3	93.75m ²	1	新耐震	
無料休憩所(六角堂)	鉄骨造	S41	132.83m ²	1	旧耐震	
無料休憩所	木造	S55	7.84m ²	1	旧耐震	
無料休憩所	木造	S55	7.29m ²	1	旧耐震	
あずま屋	木造	H29	9m ²	1	新耐震	
つり池管理事務所	木造	H10	29.1m ²	1	新耐震	
便所	コンクリートブロック造	S37	7.99m ²	1	旧耐震	
屋外便所(見学者用)	木造	S62	27.04m ²	1	新耐震	
公衆便所	鉄筋コンクリート造	H3	23.8m ²	1	新耐震	
バス待合所	木造	H10	6.62m ²	1	新耐震	

指定管理者管理運営状況（令和3年度～令和6年度）

指定管理者管理運営状況

年度	指定管理者	指定管理期間
R6年度	滋賀県漁業協同組合連合会	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
R5年度		
R4年度		
R3年度		

成果情報	R3	R4	R5	R6	備考
利用可能日数(単位:日)	320	355	355	353	
年間利用人数(単位:人)	33,090	41,592	42,766	60,783	
1日あたり利用人数(単位:人/日)	103.4	117.2	120.5	172.2	
年間収入(単位:円)	10,492,572	13,531,820	14,372,536	20,220,580	
1日あたり収入(単位:円/日)	32,789	38,118	40,486	57,282	

収入・支出実績 (単位:円)	R3	R4	R5	R6	備考
収入①	36,174,783	37,655,720	37,807,591	44,566,167	
施設利用収入	10,492,572	13,531,820	14,372,536	20,220,580	
指定管理料	25,423,167	24,123,853	23,435,000	24,340,000	
その他収入	259,044	47	55	5,587	
支出②	39,390,110	44,587,218	48,118,722	51,624,057	
人件費	25,066,287	26,594,593	29,761,365	30,050,628	
施設管理費	965,873	1,919,437	1,909,826	3,224,959	
事業費	13,357,950	16,073,188	16,447,531	18,348,470	
収支 ①-②	-3,215,327	-6,931,498	-10,311,131	-7,057,890	

モニタリング実施状況(令和6年度)

報告書の別	内容
年度報告	年次事業報告書(令和7年4月報告)
月例報告	月例業務報告書(毎月報告)
実地調査	令和6年7月、令和7年2月 実施
実地調査等の概要	<p>【令和6年7月、令和7年2月】</p> <p>指定管理者モニタリングマニュアルに基づき、実地調査を実施。書類や従業員へのヒアリング等により下記の事項を確認</p> <p>①安全の確保、②法令等の遵守、③公平利用の確保、④指定管理事業と自主事業の経費の支出区分、⑤利用の拡大、サービスの向上その他管理業務の効果の向上を図る取組、⑥適切な維持管理の実施、⑦経費の縮減等の取組、⑧管理業務を適切に実施するための体制、⑨マス類の販売状況</p> <p>【その他】</p> <p>年次事業報告書、月例事業報告書により、管理業務が適正に実施されていることを確認した。</p>

利用者ニーズの把握

手法・実施時期	令和6年度(4月～3月)
実施内容	来館者へのアンケート調査
調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 来場者の40%が県外からの来場である。 施設利用満足度5段階の内、満足度5、4、3が92.8%(5、4は83.6%) 施設への来場きっかけの1位が魚釣り、2位が自然とのふれあいであり、良かった施設の1位がエサ釣りコーナー、第2位はさかな焼きである。 {アンケートの声} きれいな景色の中、釣りをしてできたてを食べられてとても楽しかった。 いつも家族で利用しています。魚嫌いの子どもが初めてこちらの魚を食べ大好きになりました。 スタッフが少なくて釣りや焼きの待ち時間が長かった。スムーズになるように改善して欲しい。 地図を色々なところに出して欲しい。

工夫・成果のあった点、運営上の課題

・マス加工品の開発・研究を行い、市内外の特産品店などで販売を実施し、マス類の普及に取り組んでいる。

・ます祭り等のイベント開催やマスを活用した多くの自主事業を展開し、HPやSNSでの情報発信やチラシ・広報誌による広報に努めている。

来場のきっかけの半分近くが魚釣りと食体験であり、釣場事業の運営が来場者の満足度に大いに反映している。

・湧水を生かしたルアー釣り場運営等の取り組みにより、冬期にも釣り人が訪れるようになり来場者の増加につながっている。

・立地条件から施設と設備の老朽化が進行しやすく、修繕・更新は一定行っているもののすべてには手が回っていない状況にある。

・場内に廃業した民間の店舗が残っていたが、撤去により原状回復が完了した。